



# 奈良県感染症情報

令和元年 第37週(9月9日～9月15日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 感染症予防～インフルエンザやRSウイルス・百日咳の感染経路は、飛沫感染と接触感染です。～

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

| 順位 | 疾患名       | 奈良県   |        |     | 北部 | 中部  | 南部 |
|----|-----------|-------|--------|-----|----|-----|----|
|    |           | 定点当たり | (前週)   | 増減  |    |     |    |
| 1  | RSウイルス感染症 | 5.94  | (4.32) | ↑↑↑ | ↑  | ↑↑↑ | ↗  |
| 2  | 感染性胃腸炎    | 3.59  | (3.21) | ↗   | ↑  | ↗   | ↓  |
| 3  | 手足口病      | 1.53  | (1.00) | →   | ↗  | ↘   | ↘  |
| 4  | A群溶連菌咽頭炎  | 1.29  | (0.88) | ↗   | ↑  | →   | ↑  |
| 5  | ヘルパンギーナ   | 0.94  | (1.06) | ↘   | ↓  | ↘   | ↑  |

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

RSウイルス感染症の報告数の増加が続いています。特に中和保健所管内西部地域では、前週よりも大きく増加し、定点あたり報告数が19.00と非常に高い状態です。今後も、冬にかけて流行が続くことが予想されますので、注意が必要です。

第37週はインフルエンザの報告が北部地域で6件、南部地域で4件ありました。例年、インフルエンザの流行は新年になってからですが、過去には9月に集団感染事例が発生したこともあります。

RSウイルスもインフルエンザも、感染経路はともに飛沫感染と接触感染です。感染予防のポイント「手洗い」「咳エチケット」による感染拡大防止を心がけましょう。

## 感染症予防

～インフルエンザやRSウイルス・百日咳の感染経路は、飛沫感染と接触感染です。～

### 飛沫感染

- (1) 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出
- (2) 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染

※主な感染場所  
学校や職場、満員電車などの人が多く集まる場所

### 接触感染

- (1) 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる
- (2) その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く
- (3) 別の人が、その物に触って、ウイルスが手に付着
- (4) その手で口や鼻を触って粘膜から感染

※主な感染場所  
電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

飛沫感染・接触感染を防ぐためには

- ・ 帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心がけましょう。
- ・ アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 外出時なども手を顔に持って行かないようにし、外食時も食事前は手洗いを心がけましょう。

### ◆ 咳エチケット

咳やくしゃみをするときは、飛沫に病原体を含んでいるかもしれないので、周りに人がいる際にはマスクを着用しましょう。

マスクがない時でも、くしゃみや咳をするときは、周囲の人から顔をそらし、ティッシュや上着の内側、袖などで口と鼻を覆うようにしましょう。このとき、口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てるようにしましょう。

出典: 首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho2013.html>



❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R1 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

